

2017年度 京都学園大学 大学院
入学試験要項

バイオ環境研究科
バイオ環境専攻
博士課程前期



京都学園大学大学院アドミッション・ポリシー(入学者の受け入れの方針)

各研究分野の高度な学識と先端的な知識や技能の修得を通じて社会に貢献しようとする意欲の高い人を求める。

バイオ環境研究科（博士課程前期）アドミッション・ポリシー(入学者の受け入れの方針)

1. バイオサイエンスに強い関心を持ち、人類の健康と、快適かつ安全な生活に応用する最先端のバイオ技術やそれを応用する産業に意欲をもって携わりたい者。
2. 自然と科学に興味をもち、持続可能な地球環境と地域社会を建設していくバイオ環境デザイナーをめざす者。
3. 農業のあり方や農作物の加工に興味を持ち、これらに科学的な観点からアプローチし、遂行し、農作物を通じて地域の活性化に貢献したい者。

1. 募集研究科及び募集定員

研究科	専攻	課程	募集定員
バイオ環境研究科	バイオ環境専攻	博士課程 前期	20名

募集定員には外国人留学生・社会人等の志願者も含むものとし、入学試験について特段の配慮は行いません。
募集定員はA・B日程の合計です。

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者、あるいは2017年3月末までに該当見込みの者

- (1) 大学を卒業した者（学校教育法第102条）
- (2) 大学評価・学位授与機構により学士の学位を授与された者（同施行規則第155条第1項第1号）
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者（同施行規則第155条第1項第2号）
- (4) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者（同施行規則第155条第1項第3号）
- (5) 我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学日本校）を修了した者（同施行規則第155条第1項第4号）
- (6) 文部科学大臣により指定された専修学校の専門課程を修了した者（同施行規則第155条第1項第5号）
- (7) 旧制学校等を修了した者（昭和28年文部省告示第5号第1号～第4号、昭和30年文部省告示第1号）
- (8) 防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者（昭和28年文部省告示第5号第5号～第12号、昭和30年文部省告示第39号第2号）
- (9) 本大学院において個別の入学資格審査により認められた者（同施行規則第155条第1項第8号）
- (10) 大学に3年以上在学し、または外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと、本大学院において認められた者

※上記(9)(10)により出願するものは事前に個別の出願資格審査（P5 個別の出願資格審査について参照）を受けなければなりません。該当する者は、個別の出願資格審査受付日前に入学センターへ申し出てください。

※外国人留学生においては、入学後、原則として「出入国管理および難民認定法」による「留学」の在留資格を取得できる者とします。「留学」の在留資格の取得または更新の手続きができるかどうか、疑問がある場合は、あらかじめ入国管理局に確認をしてから出願してください。

※出願にあたっては、志望する研究分野の担当教員と研究テーマ等について相談してください。

3. 日程

	出願	試験日	合格発表日	1次手続	2次手続
A日程	2016年9月20日(火) ～10月1日(土)《消印有効》 ※10月3日(月) 本学持参 京都太秦キャンパス 8:30～16:30 京都亀岡キャンパス 9:00～17:00	2016年 10月8日(土) 10月9日(日)	2016年 10月20日(木)	2016年 11月4日(金)	2016年 11月25日(金)
B日程	2017年1月30日(月) ～2月9日(木)《消印有効》 ※2月10日(金) 本学持参 京都太秦キャンパス 8:30～16:30 京都亀岡キャンパス 9:00～17:00	2017年 2月17日(金) 2月18日(土)	2017年 3月6日(月)	2017年 3月10日(金)	2017年 3月24日(金)

4. 選考方法

筆記試験、面接試験、書類審査により総合的に判断します。筆記試験は英語と専門科目について行います。なお、実用英語技能検定準1級の合格者、TOEIC740点あるいはTOEFL554点以上の高得点者で、その申告があれば英語試験を免除します。専門科目については、専門共通問題6分野（作物学、食品学、生態学、環境学、生化学、有機化学）のうち選択した2分野の問題と、下記の試験科目等【専門科目】に示す14研究分野のうち、志望研究分野の問題1つを、試験時間中に解答してください。

5. 試験科目等

時 間		試 験	
1日目	10:00～11:30	筆記試験「英語」	英和辞書の持ち込み可（ただし1冊までとし、電子辞書は不可）
	12:00～13:30	筆記試験「専門科目」	専門共通問題6分野（作物学、食品学、生態学、環境学、生化学、有機化学）のうち選択した2分野の問題と、下記に示す14研究分野のうち、志望研究分野の問題1つを解答する。
2日目	13:30～（予定）	面接	学力およびそれに関する事項

【専門科目】

研究分野	出題範囲キーワード
農業生産学	新種苗、植物組織培養、地域振興
農地環境	バイオマス、土壌肥料
食品加工学	食品加工学、食品化学
発酵醸造学	一般微生物学、発酵醸造学、麹菌・酵母・乳酸菌・納豆菌の微生物学
ランドスケープデザイン	景観生態学、ランドスケープデザイン、グリーンインフラ
水環境	水処理技術、水質、水圏生態学
都市自然化	水辺環境、地域資源
環境教育	生態学、保全生物学、地球化学
里山環境	生物多様性、持続可能性、二次的自然
生物有機化学	有機化学（反応機構、機器分析を含む）、化学生態学
分子生物学	分子生物学、生化学
微生物機能開発学	一般微生物学、応用微生物学、物質生産、環境浄化、微生物酵素
食品機能学	食品化学、栄養生化学
植物バイオテクノロジー	植物生化学、植物生理学、植物分子生物学

6. 試験場

本 学（京都亀岡キャンパス）

7. 出願書類

- ① 入学願書(志願票・写真票)
- ② 卒業証明書または卒業見込証明書(出身大学が作成し、厳封したもの)
- ③ 成績証明書(出身大学が作成し、厳封したもの)
- ④ 卒業論文概要または実験、実習、演習概要書
A4 横書き 1,000 字以内(図表を含む) 志望専攻・志望研究分野・氏名付記
※用紙については、「マス目」「白紙」の2種類用意しています。どちらか一方をご使用ください。
- ⑤ 個人調書(本学所定の用紙) ※外国人留学生は不要。
- ⑥ 英語について免除を希望する場合は、その資格を証明する書類(コピー可)

社会人については次の書類もあわせて提出すること。

- ⑦ 官公庁、企業などに在職中の者は、所属長の受験承諾書

外国人留学生については次の書類もあわせて提出すること。

- ⑧ 外国人留学生個人調書(本学所定の用紙)
- ⑨ パスポートの写真のはってあるページのコピー
- ⑩ (日本国内在住者) 在留カード ※裏面に住居地変更の記載などある場合は、裏面のコピーも必要。
- ⑪ (日本国内在住者) 経費支弁者からの海外送金が確認できる受験者本人の通帳のコピー
- ⑫ 授業料減免申請書(本学所定の用紙)および経費支弁に関わる次の書類
 - ◆ 「留学」の在留資格を取得している者：経費支弁者の年収証明書
 - ◆ 「留学」の在留資格を取得していない者：経費支弁者の在職証明書および年収証明書※④⑤の書類を基に合否の判定とは別に授業料減免の可否を審査します。
- ⑬ (日本国内在住者)住民票の写しまたは住民票記載事項証明書
※3ヶ月以内に取得したもので、在留資格・在留期間の満了日に記載があるもの。
 - 出願書類に記入する氏名は住民票またはパスポート記載の氏名を用いてください。
 - いずれの書類も日本語または英語で記載されていること(その他の言語の場合は必ず日本語訳を添付すること)
- ⑭ 出願書類チェックシート

8. 入学検定料

35,000 円

9. 出願の流れ・注意事項

- ① 志願票を使用して入学検定料 35,000 円を出願期間内に本学指定の銀行口座に「電信扱い」で振り込んでください。本学入学センターへ持参する場合は現金持参可能です。納入された検定料は理由の如何を問わず返還しません。
- ② 出願に必要な書類を所定の封筒にて、出願期間内に書留速達で郵送してください。本学入学センターへ直接持参することも可能です。
- ③ 出願書類に虚偽の記載があった場合は受験を認めません。また、受験後に判明した場合には、受験を無効とし、合否の判定及び入学を取り消します。
- ④ 身体に障害のある者で、受験上の特別の配慮を希望する場合は、事前に本学入学センターまで申し出てください。

10. 合格発表

合否結果は郵送にて通知します。電話等による問い合わせには一切応じません。入学手続等については、合格通知に同封している入学手続要項を参照してください。

個別の出願資格審査について

個別の出願資格審査を必要とする方は、以下の手順に従って事前審査を受けてください。なお、個別の出願資格審査を受けようとする場合は、各書類を郵送する前に本学入学センターへ申し出を行い、申請書類の種類を確認を行ってください。特に下記の2. 申請書類(2)(3)については、発行する学校によって名称が異なる場合があるので注意してください。

1. 申請期間

A 日程：2016年9月1日(木)～9月8日(木)

B 日程：2017年1月6日(金)～1月10日(火)

いずれも期間内必着で、書留にて郵送してください。

封筒には「大学院出願資格認定申請書在中」と明記してください。

2. 申請書類

出願資格(9)による出願者

- (1) 出願資格認定申請書(履歴書)(本学所定様式)
- (2) 最終学歴の卒業証明書もしくは在籍証明書(退学・除籍等の証明書で在籍期間が明記されたもの)
(最終学歴の学校が発行したもので厳封されていること)
- (3) 最終学歴の成績証明書(最終学歴の学校が発行したもので厳封されていること)

出願資格(10)による出願者

- (1) 出願資格認定申請書(履歴書)(本学所定様式)
- (2) 在籍証明書(在籍期間が明記されたもの)
- (3) 成績証明書(最終学歴の学校が発行したもので厳封されていること)
- (4) 3年次における修得見込み科目・単位数を明記したもの(本学所定様式で本人の申告による)

なお、この出願資格による入学試験合格者は仮合格者であり、3月末に3年次の取得単位成績を確認後正式に合格者とします。したがって、2017年3月24日(金)までに成績証明書を提出してください。また仮合格者は、学力試験の成績が特に優秀であった者から選抜されます。

※(3)(4)はいずれかを提出

長期履修学生制度

長期履修学生制度とは、職業を有している等の事情により、標準修業年限(2年間)では大学院の教育課程の履修が困難な者に限り、計画的に3~4年の履修計画期間をかけて教育課程を履修し、修了する制度です。

1. 申請資格

- ① 職業を有している者
- ② 育児、介護等の事情により、標準修業年限で修了することが困難であると学長が認めた者
- ③ その他やむを得ない事情(身体の障がい、疾病等)を有し、標準修業年限で修了することが困難であると学長が認めた者

2. 履修計画期間

標準修業年限2年を含み、3年もしくは4年(年単位)

3. 申請手続き

入学日の原則20日前(2017年3月11日)までに指定書類を提出してください。

4. 授業料等の取り扱い

履修計画期間における授業料等の額は、標準修業年限分の学費を履修計画期間で除した額となります。

学費等納入金 (2017 年度予定)

※学費等納付金は予定であり変更になる可能性があります。入試手続要項でご確認ください。

※入学手続時の納付は2段階です。＜1次手続：入学金＞＜2次手続：授業料等＞

	年額	年額内訳			備考	
		入学手続時		10月納付		
		1次手続	2次手続			
入学金	200,000	200,000			入学時のみ 京都学園大学卒業者は 100,000円	
学費	授業料	630,000		315,000	315,000	
	施設設備費	150,000		75,000	75,000	
	実験実習費	170,000		85,000	85,000	
	小計	950,000		475,000	475,000	
合計	1,150,000	200,000	475,000	475,000		

外国人留学生で授業料減免が認められた者は、授業料について30%減免する。ただし、学業、性行等の状況により、適格性を欠いたと認められたときには、私費外国人留学生授業料減免内規によりその資格を取り消します。

※外国人留学生の方：傷害保険料2年間分として8,490円を2次手続時に徴収する予定です。

入学辞退

2次手続完了後に、入学を辞退する場合には、2017年3月31日(金)17:00までに書面で申し出ることが必要です。その場合に限り入学金以外の納付金(2次手続分)を返還します。詳細は合格通知に同封する入学手続要項を参照してください。

研究科の概要

研究分野	研究内容
農業生産学	環境と食糧生産の調和のとれた農業環境創造を研究しています。その主な対象は農作物の育種（品種改良）、生産基盤となる土壌と水の保全管理、地域振興、商品化です。特に植物組織培養などの新しい技術を導入して地域に適応した野菜の育種を進めます。
農地環境	循環型農業の構築を目指した、環境に調和した土作りや農地環境維持のための里山資源や天然資源の活用を研究します。
食品加工学	農産物の加工による物性の変化や食品成分の変化を解析します。それらを通じて、新しい食品加工法や食品保存法を開発します。また、地域の農産物をおいしく加工し、地域の発展につなげます。
発酵醸造学	醸造微生物の探索・研究と、発酵醸造への応用における諸課題の学問的探究。微生物学の知見を活かし、地域を拠点に発酵醸造物の高付加価値化を追求します。
ランドスケープデザイン	景観＝ランドスケープの秩序の原理を探る「景観生態学」と自然の災害を和らげ豊かな恵みを持続的に享受する「バイオ環境デザイン」を武器に、生物親和都市などのグリーンインフラストラクチャー（自然力を活かした国土形成手法）の構築を目指します。
水環境	安全な飲み水の確保や、良好な河川・海域環境の再生・保全のため、家庭や工場からの廃水の効率的な処理方法の追及、河川や湖での生物による浄化作用の解明と促進、河川や海の水質変化が生物に与える影響の調査などを行います。
都市自然化	都市を中心とした地域空間での身近な地域資源を掘り下げ、自然環境、水辺環境、生活環境の課題抽出から、地域の再生までの方法論を幅広く学びます。環境アセスメントや地理情報システム(GIS)などの具体的手法に関しても学びます。
環境教育	動物の生態・保全研究と、地殻を構成する物質の物性研究を行っています。環境教育は人間の活動全てに関わる総合的な学問領域ですが、環境教育分野では、生物に関するマクロな視点と物質の基本的理解という理系の視点から課題にアプローチし、科学的な面白さや技術的な重要性から、環境・環境問題に対する関心へと発展するような研究を行っています。
里山環境	里山をフィールドに、野生動植物の生態、二次的自然と生物多様性の保全、生物資源を活かした伝統的な生業などについて学び、失われつつある里山の自然と文化の価値を見直しながら、人と多様な生き物の共生を目指します。

次ページに続く

研究分野	研究内容
生物有機化学	抗生物質、ホルモン、フェロモン、摂食阻害物質など、さまざまな機能を持つ化学物質の構造を解析し、その働きを探求します。さらに、医薬や農薬への応用を検討し、人々の健康、快適な生活への貢献を目指します。
分子生物学	多様な細胞の機能を細胞レベルあるいは遺伝子やタンパク質の機能を分子レベルで解析し、タンパク質が操る巧妙な調節機能を解明します。それらの成果が、生活習慣病などの病因解明に貢献することを目指します。
微生物機能開発学	細菌、酵母、カビなどの持つ有用な能力の探索とその開発。微生物の力を利用した、環境と調和した物質生産、未利用資源の有効利用、環境修復技術を追求します。
食品機能学	最先端の分析技術や単離・精製技術および食品の機能性評価方法を駆使して、新しい食品素材の開発・研究を実施します。それらを通じて、農産物の機能性表示や健康機能性食品の製造や、医薬産業・化学産業に貢献します。
植物バイオテクノロジー	太陽エネルギーと二酸化炭素を使って有用な物質を作る能力、環境浄化能力、共生能力など、植物のもつさまざまな機能や能力を研究。その能力を食糧・資源・地球環境における、さまざまな問題の解決に役立てます。

個人情報の取り扱いについて

受験生の方からご提出いただいた出願書類により本学が保有した個人情報は、以下のように利用させていただきますので、あらかじめご了承ください。

- (ア) 出願書類に不備があった場合に当該受験生に連絡を取ります。場合によっては、当該受験生の所属する大学等に連絡を取ります。
- (イ) 受験票を当該受験生に送付します。
- (ウ) 合否通知を当該受験生に通知します。
- (エ) 合格者に入学手続き書類等を送付します。
- (オ) 個人を特定しない集計処理をします。
- (カ) 入学式の案内、学生総合保険案内等を送付します。
- (キ) 入学後の各種案内を送付します。
- (ク) 入学後の名簿作成・修学指導等に利用します。
- (ケ) 個人情報および入試結果のデータ処理を業者に委託する場合があります。なお、受託業者は、上記の情報を京都学園大学が明示する用途のみに使用し、受託業務を超えて利用することはありません。本学は、委託先における個人情報の保護が適切になされ、安全管理が十分に行われていることを業者選定の基準にしています。

出願に係わる個人情報は、あらかじめ本人の同意を得ないで第三者に提供しません。ただし、①法令に基づく場合、②個人の生命・身体又は財産の保護のために必要がある場合であって本人の同意を得ることが困難であるときなど、個人情報保護法並びに「学校法人京都学園個人情報の保護に関する規程」に定める特段の事情がある場合は、この限りではありません。

なお、出願に係わる個人情報の取り扱いについてのお問い合わせは、京都学園大学入学センターまでご連絡ください。

京都学園大学 入学センター

〒621-8555 京都府亀岡市曾我部町南条大谷 1-1

TEL0771-29-2222(入学センター直通)

E-mail nyushi@kyotogakuen.ac.jp